

HITO NEWS

HITO
MEDICAL
CENTER
NEWS

2013.9

No.01

病院長あいさつ

循環器内科について

シリーズ：脳・心臓疾患をよく知ろう
第一回「脳卒中」

スタッフコラム

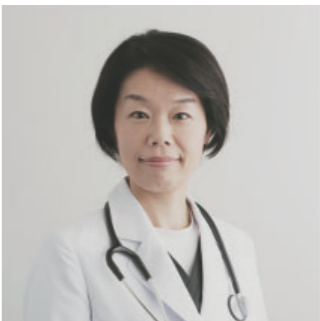
「開院四カ月を迎えて」

医師紹介

HITO病院からのお知らせとお願い

TOPICS





社会医療法人石川記念会
HITO病院 病院長 神賀代

はじめに

この度、宇摩医療圏地域の地域医療再生計画における病床再編・統合計画により、許可病床数153床から104床の増床許可をいただき、4月1日に257床の新病院を開院いたしました。

病院名も開院と同時に「石川病院」から「HITO（ヒト）病院」に変更いたしました。開院に先立ち、昨年12月には県から認可を受け、法人形態が「医療法人」から「社会医療法人」に変更となり、民間病院から公的病院としての歩みも始まっております。

これもひとえに地域の皆様のご支援のたまものであり、この場を借りて御礼を申し上げます。HITO病院のコンセプトは「病院らしくない」病院で、病院のネーミングも数ある候補の中から、「HITO」を採用しました。

HITOの意味	
Humanity -	患者さまを家族のように想い、温かく接します。
Interaction -	患者さまとの対話を尊重し、相互理解に努めます。
Trust -	技術と知識の研鑽に努め、信頼される医療を目指します。
Openness -	心を開き、患者さまと公平に向き合います。

この4つの意味の頭文字を合わせ、また「病を診るだけでなく、人を診る医療でありたい」という私たちの思いを込めて、HITO病院です。内装についても、くつろげる空間を意識し「病院らしくない」デザインになっております。11Fレストラン



3次元画像解析
システムボリュームアナライザー
富士フィルム SYNAPSE VINCENT

撮影装置の画像をソースに、様々な3D解析画像を再構成します。

急性期病院としての機能分化

この先、超高齢化社会を迎えるにあたり、高度先進医療を提供する大規模病院だけでは対応できない疾患が多く出てくると思われる、急性期の機能分化が求められてきます。そのためには、急性期病院として果たす役割を明確にする必要があると私たちは考えます。具体的には、外来の専門性を高くし、専門的な治療が必要な患者様は他の病院から紹介をしていたり、治療が終了して状態が安定された患者様は逆紹介をさせていただき、というように地域全体

で患者さまを支えていければと思っております。今後は病床の機能分化を進めることで、私たちは2次救急病院としての使命を果たしていきたいと考えています。

地域連携の強化

地域連携室では4月より室長以下、看護師1名、医療ソーシャルワーカー5名の7名体制にて、院内の医師と地域の開業医・勤務医の先生方と、紹介・逆紹介がスムーズに進めていけるよう支援をさせていただきます。また、安定期の外来患者様には積極的にかかりつけ医のご紹介をさせていただきます。患者様には諸処の手続きが煩雑にならないよう、新たに「サポートセンター」を立ち上げ、診療予約・検査予約・紹介・逆紹介・入院受付・各種相談をまとめて受付出来るようにいたしました。患者さまにおかれましても、紹介・逆紹介などの地域連携のシステムにご理解をいただけますと幸いです。

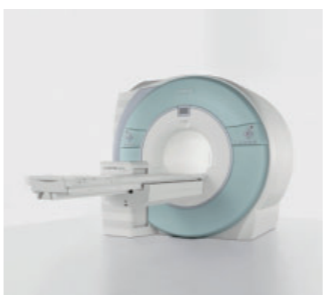
や1F喫茶・コンビニは病院サービスをご利用頂かなくても、利用が出来ますので、是非一度お立ち寄りください。

医療面では、脳卒中治療、心疾患治療、救急医療体制の強化（救急外来新設、HCU新設）、手術室の増室、美容外科の新設、最先端検査機器の導入など、様々な面で病院機能を拡充しました。

がん診療では、外来化学療法室の増設、緩和ケア病棟の開設など、愛媛県がん診療連携推進病院として、より質の高い医療を提供していく所存です。おもな検査機器をご紹介します。

検査機器概要

3テスラMRI
SIEMENS
MAGNETOM Verio



従来の1.5テスラMRIに比べ短時間で高解像度の画像が得られます。

グループ再編について

HITO病院開院に併せて、石川病院グループも、平成25年4月1日より「HITO病院グループ」として、再編いたしました。グループは左記の3法人により構成されます。

社会福祉法人 愛美会	医療法人 健康会	社会医療法人石川記念会 HITO病院
<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム「樋谷荘」 介護老人保健施設アイリス ケアハウス虹の里 グループホーム虹の里 デイサービスセンターむらまつ 地域密着型介護老人福祉施設 小規模多機能居宅介護 山田井の郷 	<ul style="list-style-type: none"> 石川クリニック 居宅介護支援事業所いしかわ 訪問看護ステーションいしかわ ヘルパーステーションいしかわ グループホームいしかわ 一般型通所介護いしかわ 認知症対応型通所介護いしかわ 	<ul style="list-style-type: none"> 2次救急 健診センター 美容外科 緩和ケア リハビリテーション 脳卒中、心疾患、糖尿病 がん診療

128スライス2管球CT
SIEMENS SOMATOM
Definition Flash



2つのX線管球を用いることで、息止め時間の短縮や特殊な撮影が可能となります。

D S A (血管撮影装置)
SIEMENS
Artis zee BA Twin



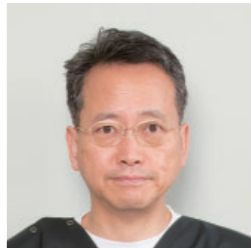
フルフィールドフラットディテクタ搭載IVR対応バイプレーンシステムです。バイプレーンと呼ばれる2つのX線管球をもつことにより、同時に2方向から透視、撮影ができます。

今後は、機能分化を進めながら各事業所を強化し、グループの総合力を生かして地域の皆さまをサポートしてまいります。

最後に

新病院では、患者様に対しては「いきるを支える」、職員に対しては「患者様第一」という言葉をテーマとしております。「いきるを支える」という言葉には、医療・ケアを通して患者さまの人生をサポートさせていただくという想いが、「患者様第一」という言葉には、私達が普段の業務の中で、「患者様中心の医療を提供する」ことを常に心に置いておきたい、という想いがあります。今後は「いきるを支える」と「患者様第一」を胸に一歩ずつ前進し、HITO病院でも地域に根ざした病院として地域の方々に良質な医療を提供できるよう、より一層精力的に取り組んでまいります。引き続き、地域の皆様の変わらぬご厚情を賜りますよう、よろしくご厚情を申し上げます。

医師紹介



副院長補佐
臨床研修センター長
さとう もとみち
佐藤 元通

専門分野—消化器一般、肝胆膵、
乳腺甲状腺外科
専門医、認定医など—日本外科学会
専門医・指導医、日本消化器外科学会
専門医・指導医、日本肝臓学会
専門医、日本消化器病学会
専門医、消化器がん外科治療認定医

出身大学—愛媛大学
卒業年度—昭和54年
モットー—安全に最新の治療をする事。



整形外科 医長
リハビリテーション科責任者
やまおか ごうたろう
山岡 豪大朗

専門分野—脊椎脊髄疾患
専門医、認定医など—日本整形外科学会
出身大学—宮崎医科大学
卒業年度—平成14年
患者様にひとこと—一緒に病气やケガを治しましょう。



整形外科 医師
みさき ひろし
見崎 浩

専門分野—脊椎外科
出身大学—愛媛大学
卒業年度—平成14年
患者さんへのメッセージ—骨折、外傷はお任せください。



整形外科
リハビリテーション科医師
いわせ みほ
岩瀬 美保

専門分野—関節外科、リハビリテーション
専門医、認定医など—日本整形外科学会
出身大学—東京女子医科大学
卒業年度—平成4年
モットー—なせばなる



美容外科 医長
おおかわ かづまさ
大川 勝正

専門分野—形成外科、美容外科
出身大学—徳島大学
卒業年度—平成12年
モットー—より美しく、より自然に患者様一人一人の専門医を目指しています。



放射線科 医長
おだ しょうご
小田 尚吾

専門分野—放射線診断
専門医、認定医など—日本医学放射線学会
出身大学—愛媛大学
卒業年度—平成15年
モットー—見落としのない診断を心がけています。



当院では、愛媛県地域医療再生計画にうたわれた脳卒中・心筋梗塞治療の役割を担うために、新たに専門医を招聘いたしました。

循環器内科部長の伊藤彰医師は、冠動脈インターベンション治療※を専門分野として、関西地区で活躍をされており、HITO病院内の搬送を余儀なくされていた、急性心筋梗塞等、一分一秒を争う心臓疾患への対応ができれば、とのことでこの地に赴かれました。

MRI、心臓カテテル検査、末梢血管、腎動脈造影検査、心臓電気生理学的検査など。薬物治療、冠動脈形成術、末梢動脈形成術、腎動脈形成術、IABP(大動脈バルーンポンプ)、ペースメーカー植込み、植込み型除細動器植込み、下大静脈フィルター留置など。

03 当院で行っている検査・治療の内容

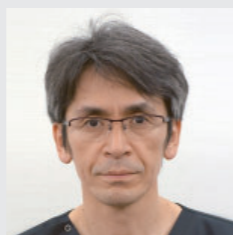
右記のうち、当院では核医学検査はできませんが、その他の検査は可能です。

また、植え込み型除細動器植え込みはできませんが、その他は可能です。

※心筋梗塞や狭心症で行われる「冠動脈インターベンション(PCI)」は、カテテルと呼ばれている細い管状の治療器具を、手首の動脈などから、異常のある心臓の冠動脈まで到達させて治療を行います。

カテテルの中にさらに細くてやわらかい針金(ガイドワイヤー)

を通し、この針金を使ってバルーンやステントと呼ばれる治療器具を操作して、細くなった血管を広げたり、詰まった血管を治療することができます。



循環器内科
部長
いとう あきら
伊藤 彰

専門分野—循環器内科全般、冠動脈インターベンション、下肢動脈・末梢動脈インターベンション
専門医、認定医など—日本内科学会
総合内科専門医、日本循環器学会
専門医、日本心血管カテテル治療学会
専門医、日本心血管内視鏡学会
専門医

他資格等—日本冠疾患学会理事、日本心血管内視鏡学会理事、日本心臓病学会FJCC

出身大学—徳島大学医学部
卒業年度—昭和59年

モットー—"patient first"の
ような時も患者さん、ご家族の満足、
幸せを第一に考えます。



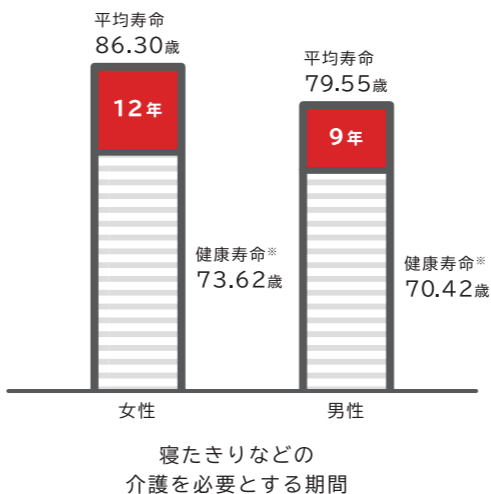
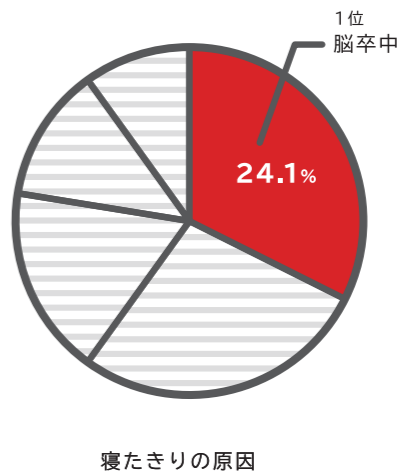
02 循環器内科で行う検査・治療の内容

心電図、運動負荷心電図、心エコー検査、心臓核医学検査、心臓CT、

01 循環器内科の取り扱う疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞症など)、弁膜症、心筋症、成人の先天性心疾患、不整脈、高血圧、腎血管性高血圧、肺高血圧、肺血栓塞栓症、末梢動脈疾患など

シリーズ
脳・心臓疾患を
よく知ろう



※健康寿命・・・介護を受けたり病気で寝たきりになつたりせず、日常生活を健康的に送ることのできる期間



当院は愛媛県の医療再生計画にて、宇摩医療圏における中核病院として補助金を受け、脳卒中治療や急性心筋梗塞治療に必要な医療機器等の整備を行いました。脳・心臓は発症から処置までに緊急を要する疾患です。少しでも市民の皆様へ疾患について知っていただき、緊急時にお役に立てて頂けるように、脳・心臓疾患についての解説を掲載いたします。



脳神経外科
医長
しのはら なおき
篠原 直樹

脳卒中とは？

突然生じた脳血管障害により脳の機能が障害され、半身が動かなくなったり、しびれたり、言葉が話せなくなったりする発作のことを言います。脳の血管がつまって血液が流れなくなる脳梗塞や、脳血管が裂けておこる脳出血、脳動脈瘤や血管奇形から出血するくも膜下出血

などがあります。

脳卒中は日本人の死亡原因の第4位であり、寝たきりの原因の第1位であることが重大な問題です。日本人の平均寿命は、男性79・55歳、女性86・30歳と世界的にみても長寿となっておりますが、ここで注目すべきことは健康寿命（介護を受けたり病気で寝たきりになつたりせず、日常生活を健康的に送ることのできる期間のこと）は男性70・42歳、女性73・62歳と平均寿命より男性でマイナス9年、女性でマイナス12年もあるということです。この差をいかに少なくし、健康で長生きするかを考えてみたいと思います。

今回は、脳卒中の中でも特に患者数が多い脳梗塞の診断・治療の動向を中心に当院での取り組みも交えてお話ししたいと思います。

大きく変貌した脳梗塞診療

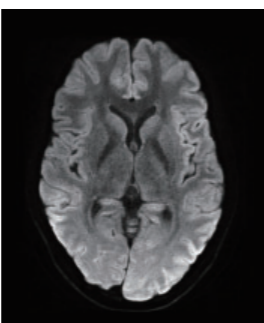
脳梗塞の治療で一番大きく変わったことと言えば、2008年に発症3〜4・5時間までの虚血性脳血8時間まで可能な血栓回収療法などの新たな治療法も施行できる体制をとっております。

パイプラインフルデジタル血管撮影装置
Artis zee BA twin
脳血管造影検査や脳血管内治療に対応



放射線部も24時間体制で検査を施行できる体制です。当院の3T（テストラ）MRIに導入されたRESOLVEという最新ソフトにより急性期の微小な脳梗塞検出能は飛躍的に向上し、超急性期脳梗塞の早期発見・治療につながっています。

高分解能の新しいDiffusion RESOLVE



しかし、残念ながらtPA治療を受けることができる患者さんは発症者の1割にも満たないのが現状で、全国の集計でもtPA治療を受けた患者の6割程度は後遺症を残すか致命的な転帰をとっています。虚血性脳血管障害患者の大多数を占めるtPA静注療法の非適応例・無効例に対する救済治療として最近、血管内治療も注目され、当院においても急性期脳卒中治療を積極的に

行っていくなかで、徳島大学や愛媛大学のご支援を頂きながら、血管内治療にも取り組んでおり、発症から

管障害に対するtPA療法の有効性と安全性を示す報告が欧州からなされ、その後、その適応が諸外国でも拡大し、2012年8月31日には日本でも発症3時間以内には日本でも発症3時間以内にはしか使用できなかったtPA静注療法が4・5時間まで使用可能となりました。

tPA静注療法とは、血管内に詰まった血栓を溶かし、血流を再開させるお薬を点滴で静脈から投与する治療法で、これにより脳への障害を最小限にし、症状の改善をはかります。従来の脳梗塞治療は詰まった血管を再開通させるものではありませんでしたが、2005年から日本でも使用可能となったtPA静注療法は劇的に症状がとれる可能性があり

ます。このお薬の投与可能時間が延長したことは、それだけ恩恵を受けることのできる患者さんが増える可能性があるということなのです。そのためにもできるだけ早く、脳卒中の専門治療が可能な施設を受診し、治療を開始することが大切です。

脳卒中の症状

ではどのような症状が脳卒中なのでしょう？ 代表的な3つの症状についてお話しします。

- ・顔面の麻痺
- ・腕の麻痺
- ・言葉の障害

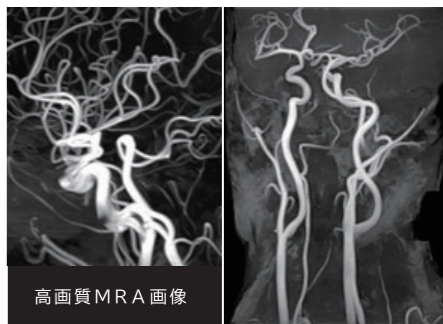
に気がついたら、発症時間を確認して、すぐに119番してください。これらの症状が突然ひとつでも出現したら脳神経外科や神経内科のある救急病院で直ちに診察を受けてください。

脳卒中や心筋梗塞などの循環器疾患は時間との戦いです。早期の治療開始がその後の機能回復の程度を決めると言われています。

脳卒中の診断・治療

当院でも脳疾患患者さまの急患受け入れについては、救急指定日だけでなく、より早期から診断・治療を開始できるように365日24時間お断りしない診療体制で、当直医の先生方にもご協力頂いております

術中、TCDモニタリング（経頭蓋的に頭蓋内血管の血流速度を測定することで脳血管障害の評価を行う）やINVOSモニター（無侵襲混合血酸素飽和度監視システム）などを使用することで術後合併症の予防も



【脳卒中リハビリテーション】

急性期に手術や外科的治療が必要である脳卒中患者の割合は決して多いものではありません。では、どのような治療が寝たきりを防ぐのでしょうか？

急性期治療には、救命はもちろん、可能な限り脳へのダメージを軽減させ、症状の進行を防止し、その後の機能回復をはかる目的があります。が、廃用症候群を予防することが重要で、脳卒中診療ガイドラインにおいても、十分なりスク管理のもとにできるだけ発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことが強く勧められています。

【脳卒中の予防法】

高血圧症は脳出血、脳梗塞の最大の危険因子です。
高齢者は140/90mmHg未満、若年・中年者は130/85mmHg未満、糖尿病や腎障害合併例には130/80mmHg未満が推奨されています。

高血圧症、糖尿病、脂質代謝異常症はかかりつけ医での内科的全身管理が脳卒中の予防に重要です。喫煙や大量飲酒なども脳卒中の危険因子であり、生活習慣の見直しも大切です。重症の脳梗塞を引き起こす心原性脳塞栓症の予防については、心房細動という不整脈が原因となることが多く、非弁膜症性心房細動がある方で心不全、高血圧、高齢（75歳以上）、糖尿病、脳梗塞や一過性脳虚血発作の既往などのある方は抗凝固療法による塞栓症の予防を考慮する必要があります。

最後になりますが、脳卒中になってあわてないためにはまず、脳卒中を知ること、そして疑わしい症状が突然生じたときにはすぐに専門病院へ

救急車で行きましょう。初回治療のチャンス逃せば、重度の後遺症が残る可能性が高まります。早期の治療開始がその後の機能回復の程度を決めます。おかしいなと思ったら、迷うことなく119番にダイヤルを。

〈脳卒中の症状〉

- ・からだの半身に力が入らない
- ・からだの半身がしびれる
- ・めまい、ふらつき
- ・物が二重に見える
- ・視界の半分が見えない
- ・ろれつが回らない
- ・言葉が出ない
- ・意識もうろう
- ・空間の半分を無視
- ・物が把握できない
- ・ものごとのやり方がわからない

Staff COLUMN
スタッフコラム



副院長
看護部長
やかち たかよ
山地 教代

開院4カ月を迎えて

病院ニュースをご覧のみなさま、お久しぶりです。日中はまだ暑さ厳しい折、いかがお過ごしでしょうか。

HITO病院が開院して、早くも4カ月が過ぎようとしています。看護部ではこの4カ月、ただただ患者さまにご迷惑をおかけしないようにと努めてまいりました。

HITO病院建築にあたり、石川病院の問題点やどのような機能を備えることが地域の皆様のニーズにこたえることになるのかなど病院職員はもちろん、コンサルタント、建築関係者などたくさんの方たちと話し合いました。10人いれば

10人、また職種も違えばさらにですが目標は同じでも意見は様々です。それぞれが真剣に考えるのですから、議論もありどうなるのかと思うこともしばしばでした。病院の構想が決まり、どんどん工事が進むようになると、今度は中身の目線で業務を構築していくのですが、これが本当に難しいのです。そもそもあまり病院で治療を受けたことのない人もあり、そのようなときにも意識して病院の施設やシステムを観察したこともない。（家族が病気の時などその余裕はなかなかありません）

人間の発想は自分の経験の範囲にもとづくということを私自身の発想に貧困さから気付きました。「病院だからこうあるべし」「病院はこのようなシステムで動いている」など今までの勤務経験に基づき考えてしまうのです。そこには「もった」という発想がありません。それでも、時間とともにみんなの頭の中に新病院が建ちあがり、なかこのようにすれば業務が行える

のではないかとこのころまで手が出来上がり、何度もコミュニケーションを行い、開院の日を迎えることができました。

しかし、開院してみると予定通りの行動は難しく、職員の顔は緊張でひきつっていました。患者さまからの質問にもしどろもどろ、何かと時間がかかる、各部署の連携はうまくいかない。などなど本当にご迷惑をおかけしたことと思います。私も外来の様子を見ながら、今までなら椅子が無ければ椅子を出す、順番なども自然にお声かけするなど、出来ていたこともできないくらい緊張しているスタッフを感じていました。

患者さまはじめ来院者の方々から多くのご意見をいただき、いただいたご意見を参考に多職種でミーティングやコミュニケーションを行い、今も少しずつ業務を改善しています。たぶん「これで全部OK」となる日は来ないと思います。

HITO病院は皆様のご意見や職員の研鑽によりどんどん変わっていく可能性を持っています。

やっと4カ月、されど4カ月、皆様、これからも私どもHITO病院を温かく厳しく見守っていただきますようお願い申し上げます。

「第2回 HITO 病院地域医療講演会」開催のお知らせ

演題	心臓病にならないために、心臓病になってしまったら	会場	HITO病院 3階 大会議室
講師	伊藤 彰 先生 (HITO病院 循環器内科部長)	対象	医療従事者および一般市民
日時	平成25年10月30日(水) 19:00~20:30	受講料	無料(事前の申し込みは必要ありません)
		駐車場	あり(参加者は会場で無料手続き致します)

【駐車場について】

新病院では、違法駐車を防ぎ、患者様や面会に来られた方に気持ちよく駐車場を利用していただくため、ゲートによる有料駐車場管理をスタートさせました。駐車場利用のマナーをお守りいただき、当院を受診される方、面会に来られた方、施設利用の方、また業者の方、皆様にとって利用しやすい駐車場運営になるよう努力いたしますので皆様方のご協力をいただけますようお願いいたします。

なお、外来を診察されました方は6時間無料(12時間まで100円)とさせていただきます。診療時間内につきましては、1階の会計窓口、診療時間外につきましては2階の時間外受付にて前述の手続きをさせていただきますので、そこで駐車券を提示してください。入退院時の付添いや手術時の付添い、その他特に必要である付添いにつきましては、無料手続きを

させていただきますので、当院スタッフまでお申しつけください。

そのほか、長期に渡る付添いが必要な方には月間パスポートの発効もしております。

ご不明な点がございましたら、当院スタッフよりご説明いたしますのでお声かけください。

なお、健康診断を受けられた方、各施設利用の方等への割引料金の設定をしております。

【セキュリティについて】

当院では、入院患者様に少しでも安心して過ごして頂きたいとの思いから、病棟のセキュリティを万全にさせていただいております。どなたでも自由に入ることができる病棟であることが危険であること、またスタッフの目の届かない間に認知症等の患者様が院外へ出てしまうことが危険であることから、新病院よりこのシステムを導入させて

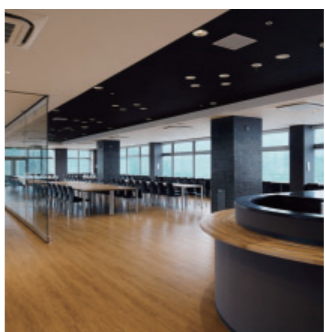
いただきました。患者様および面会に来られた方にはご不便をおかけすることがあろうかと思いますが、何卒ご理解ご協力いただけますようお願いいたします。

【禁煙宣言】

当院へ来院された方はお気づきかと思いますが、当院は駐車場を含め施設内全面禁煙とさせていただきます。当院は、がん対策推進計画に基づき、地域がん診療連携拠点病院に準ずる機能を有する病院として指定を受け、拠点病院と共にがん医療水準の向上を図るとともに、がん診療の地域連携を支援いたします。当院では、がん診療における病診連携、化学療法の実施、緩和ケアの提供体制の整備、がんにもつたる相談支援・情報提供などに努めて参ります。皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【レストラン等】

当院の最上階には当院の職員食堂兼レストラン「SORA DINING」があります。



11階レストラン「SORA DINING」

もちろん一般の方にもご利用いただくことができるレストランです。地上11階の、大きなガラス窓のある開放的な空間で、四国中央市を一望しながら食事を楽しんでいただけます。

毎日2種類から選ぶことができる日替わり定食は、500円で大満足のパリユーム。他にも麺類やカレーも日替わりで用意され、毎日様々な味を楽しむことができます。運が良ければ、有名飲食店の味を再現したイベントメニューと

TOPICS

〈第1回地域医療講演会〉



去る、7月1日、第1回HITO病院地域医療講演会が開催されました。旧石川

病院から数えると、13回目の開催となります。今回のテーマは「キズの治療について」外傷・火傷の治療を考える」と題して、HITO病院形成外科医長の米田武史医師による講演を行いました。キズと言えば消毒をして、ガーゼで保護するというのが一般的ですが、近年は細胞の回復力に着目した「湿潤療法」が、キズの治りが早く、また患者さんへの痛みが少ないため、注目されており、当院でも実践がされているとのことでした。地域医療講演会は、今後も3カ月に1回程度のペースで開催してまいります。どなたでもご参加いただけますので、ご興味あるテーマがありましたら、是非ご参加ください。

〈第1回医療連携講演会〉

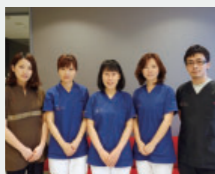


去る、7月10日、第1回医療連携講演会が開催されました。当院の循環器内科部長

の伊藤彰医師による、「狭心症・心筋梗塞の診断と治療」最近何が変わったか」当院での症例を含めて」と題しての講演を行いました。当日は16名のクリニックの先生方にご参加頂き、講演後は活発な質疑応答が交わされました。

当院では、地域の開業医・勤務医の先生方との医療連携を円滑に進め、急性期病院として先生方とともに綿密に連携の取れた地域医療を目指し、一日も早く宇摩圏域医療の一翼を担えるような病院として、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう、地域連携の強化を目的として、地域の先生方とともに、症例等の検討会や講演会を定期的に開催する予定です。

〈美容外科Beより〉



6月1日に正式オープンした美容外科Beでは、Facebookにて情報発信中です。気になる施術の金額やお得な情報など、気になる方は是非左上のQRコードにてアクセスください。



出会えるかも…。

土日も営業中で、今後はレストランを利用した患者様や地域の人たちのためのイベントも企画します。1階には本格コーヒーを楽しむことができるカフェ「CUPS」があります。お洒落なBGMとコーヒーの良い香りに包まれた、病院の中とは思えない癒しの空間となっています。飲み物やデザートだけではなく、こだわりのカレーも絶品。診察前後や待ち合わせの際にもぜひお気軽にお立ち寄りください。

レストラン、カフェと、新たにHITO病院に加わったグルメスポットに売店も負けてはいません。1階のカフェのとなり、HITO病院の売店「HITO PLUS SHOP」では新商品も続々登場。このたび、地元

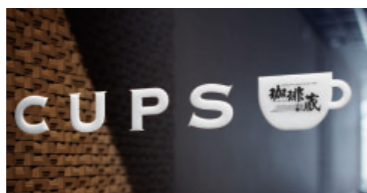
の料亭とコラボした新商品の販売を開始しました。

お米からこだわってつくったおにぎりや、バリエーション豊富なハンバーガーなど、地元の料亭の味が「HITO PLUS SHOP」でも楽しむことができますのでぜひご賞味を。



コンビニ HITO PLUS SHOP

【営業時間】
7:30~20:00(平日)
7:30~13:30(半日診療日)
【定休日】毎週日曜、祝日



カフェ CUPS

【営業時間】
8:30~18:00(平日、半日診療日)
8:30~13:00(第1・3・5土曜日)
【定休日】第2・4土曜、日曜日



レストラン SORA DINING

【営業時間】
ランチタイム 11:00~14:00
カフェタイム 14:00~17:00
【定休日】祝日

HITO 病院
Official Site



Facebook



LINE@



美容外科Be
Facebook



HITO | 病院

社会医療法人石川記念会 HITO 病院
〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町 788 番地 1
TEL: 0896-58-2222 FAX: 0896-58-2223 URL: hito-medical.jp